

令和6年度 地域連携推進会議 議事録

日時：令和6年10月8日（火）

15：00～15：55

場所：由利本荘地域生活支援センター会議室

1. 管理者挨拶

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

当会議は来年度より開催が義務付けられることとなり、この会議後に行われますグループホームの見学を踏まえ地域に住んでいる利用者様と地域との関係づくりの促進等に繋がりますよう限られた時間ではありますが、率直なご意見、ご感想をいただきたいと思っております。本日はよろしくお願いたします。

2. 地域支援課（水林事業所）の現状等について

地域連携推進会議資料参照

① 事業所名 秋田県心身障害者コロニー水林事業所（介護サービス包括型）

② 運営しているグループホームについて

男性8か所、女性2か所の計10か所のグループホームを運営。

定員52名（うち2室は由利本荘市障がい者緊急一時確保事業、短期利用用）。

令和6年10月1日現在 男性36名、女性9名 計45名。

③ 設置場所・・・旧本荘市内

清和・朋（4ホーム）は法人保有。

④ 入退所状況

・令和5年度 新規利用者なし

・現在、西目地区に法人保有のグループホームを3棟建設中。それに伴い、利用者の再編整備を行っている。9月1日付けで、西目地区グループホームを利用していた利用者1名が水林事業所グループホームへ移行している。

・退所利用者について

令和5年度 1名（長期入院のため契約解除）

令和6年度9月までに3名の方が退所している。1名は闘病生活を経て逝去、残る2名は高齢に伴う圧迫骨折、大腿部骨折、鼠径ヘルニア手術等を経て車椅子生活を余儀なくされ、グループホームでの生活が難しくなったため。

生活の場の移行については、近隣のケアマネジャーを交えた検討会議を実施し、介護が

整った特別養護老人ホームへの移行が望ましいとのことで、本人、ご家族からの同意をいただき移行となった。

⑤ 障害支援区分について

水林事業所グループホームを利用されている方は、比較的自立されている方が多いため、障害支援区分が付いていない方が27名いる。また、支援区分を受けている方の内訳は資料記載通り。障害支援区分の平均1.31とかなり低くなっている。

⑥ 年齢構成について

平均年齢53.18歳（男性52.9歳、女性54.34歳）。

令和4年4月から新規利用している男性2名は支援学校を卒業し、一般就労しながらグループホームを利用している。うち1名の方は自動車免許を取得し車で通勤している。

⑦ 日中活動について

介護サービス包括型のため、日中はグループホーム以外の場所で活動をしている。

一般就労13名は就労先の即戦力として頑張っており、会社の行事へも参加をして社員との親交を深めている。

障害福祉サービス利用者の内訳・・・就労継続支援B型、生活介護事業へ

また、高齢のため身体機能維持を目的とし近隣の通所介護リハビリへ2名、精神面の安定を図り生活リズムの立て直しのため、地域活動支援センターへ1名利用中。

※利用重複あり。

⑧ 由利本荘市からの受託事業

「地域生活支援体制」の一つとして「由利本荘市障がい者緊急一時確保事業」を受託。主に、介護者の急病等や不測の事態、養護者からの虐待、状態の変化等の場合により緊急的かつ一時的な宿泊場所の提供をしている。

受け入れグループホーム・・・清和A（女性）朋A（男性）各1室ずつ

受け入れ・・・由利本荘市もしくは由利本荘基幹相談センターから連絡を受け、相談者の情報共有を図り体制を整えている。

令和5年度・・・3名（延べ21日間）、令和6年度9月まで・・・1名（延べ5日間）

利用の理由として多いのは、家族等からの虐待を疑われるための一時的利用。

ただし、重度心身障害者や医療的ケア児の受け入れ体制は整っておらず、今後職員と検討していく予定。

⑨ 職員配置

地域支援部長、地域支援課長1名（西目地区グループホームと兼務）

正職員・・・統括1名、管理課付け1名（本荘。西目地区の事務、総務会計）

サービス管理責任者1名、看護師3名、支援員5名 計12名

世話人各ホーム1名 計10名、宿直専門員4名（清和A、朋Aへ各2名）

⑩ 行事について

昨年度、コロナウイルス完成症が2類から5類へ変更に伴い、利用者主体の行事が開催されている。これは年1回の自治会総会にて行事計画を検討し、納涼祭、日帰り旅行忘年会を実施。特に昨年はコロナウイルスの流行後、3年ぶりの開催であり喜びもひとしおであった。

また、広報誌を年2回発行し、ご家族へ報告している。（資料参照）

⑪ BCP（業務継続計画）について

地震や豪雨などの災害時を含めた有事の際や感染症への対応など、福祉サービスの提供が必要な方へ福祉サービスが滞りなく対応するための計画書である。

令和6年4月から策定及び設置が義務化。職員への周知、BCPに応じた訓練も必要。

※グループホームに関わるものでコロニーとは別に作成。

由利本荘地域生活支援センター近隣が二十六木橋を起点とし「洪水・浸水ハザードマップ対象地域」となっている。このためこの地域内に高齢者や障害者が暮らしている場合、

「要援護者等避難確保計画」を作成し行政へ提出し承認を受ける必要がある。また、年1回以上の訓練を実施し、行政へ報告が義務付け。

今年7月の由利本荘、にかほ地区の記録的な大雨の際には、由利町子吉川が氾濫。

清和、朋の利用者を一時的に水林事業所へ避難している。

⑫ 虐待への取り組み

全体を通し、虐待もしくは不適切な支援につながる行為はなし。

虐待防止チェックリスト（年2回）セルフチェックリスト（毎月）、事業所単位の虐待防止委員会（定期会議内において適宜開催）により、虐待防止への意識が浸透してきており、利用者支援について苦慮している姿も見られる。対応時、一人で抱え込まないこと、利用者にとって必要な支援、声掛けであっても誤解を招かないよう複数の職員で対応するよう伝えている。セルフチェックリストは自身の振り返りとなり、個々の意識向上に繋がっていると思う。引き続き、虐待防止への意識及び職員資質向上を高めていく。

※異性介助について・・・プライバシーの侵害の項目に状況に応じ、排泄介助等を行うことがあるとの記載あり。世話人の配置上、異性となる場合が多く、場合によっては介護支援に携わる場合もあり。今年度の個別支援計画等の作成において、異性介助について同意を取ることになっており、職員への周知を図っていく。

⑬ 満足度調査について

年1回利用者から聞き取り。衣食住に関する分野から職員の対応、日常の活動など幅広い

分野の聞き取りを利用者一人ひとりから実施。今後も利用者からの意見を参考に、住みやすい環境、支援を高めていく。

⑭ ヒヤリハットについて

令和5年度 2件（うち1件は事故報告として市町村へ報告）

今年度は9月までに1件。

利用者による内服薬の自己管理での記載ミスであったが、利用者さん自身による自己管理の難しさを改めて知る機会となり、再発防止に向けて世話人、職員の内服薬のチェックを強化している。

3. その他

① 新規グループホーム建築について

現在西目地区に3棟グループホームを建設中（バリアフリー化）。現在使用しているグループホームの老朽化等によるもの。（家主からも居住に関して安全性の確保が難しいため、賃貸契約の更新不可との話があった）竣工は令和6年12月の予定。内覧会も予定しており、後日ご連絡いたします。

② コロナウイルス感染状況

令和4年度 13名罹患。

令和5年度 10名罹患。

令和6年度9月末まで、8名罹患。

※いずれも大きな病気には繋がっていない。

◎出席者より質問

【委員】 Q. パート職員はいるか。

【課長】 A. 世話人の中で現在1名いる。世話人勤務は朝、夕の2パターンであるが2パターン勤務が難しいとのことで、夕方のみ勤務。水林事業所裏手の「グループホーム若菜」で勤務。ここで生活している利用者はほぼ自立しているため可能であるが、早・遅番職員の巡回等を行い対応中。

【委員】 Q. 喫煙者はいるか。

【課長】 A. 喫煙者のいるグループホームには火消し壺があり、喫煙所も設けている。

【委員】 Q. 水林新生園のグループホームでは誤報により消防署が来たケースがある。（屋根からの雨漏りにより発火した模様）

【課長】 A. コロニーでも同様の案件があり。大事には至らず。

喫煙者には火災等を招かないよう引き続き注意喚起を行っていく。

4、地域支援部長より

お忙しい中、お時間をいただきありがとうございました
利用者の説明でもありましたが、高齢化、要介護度が上がり、介護系サービスへ移行する方も出てきております。引き続き、関係機関との連携、情報共有を行い、個々の負担軽減を図り生活を続けてもらえるよう支援してまいります。

また、全国的にもニュース等の報道により、グループホームの虐待案件が施設入所を上回っているとのことで、当事業所においても気を引き締めて支援に取り組んでいるところです。今回、第1回地域連携推進会議を開催し、この会議を通して外部の目が入ることで、今後の支地域援の在り方を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

以 上

※会議終了後、グループホームに見学。

令和6年度 地域連携推進会議

秋田県心身障害者コロニー
地域支援課（水林事業所）

1 日 時 令和6年10月8日（火） 15時00分から

2 場 所 由利本荘地域生活支援センター

3 挨 拶 秋田県心身障害者コロニー 管理者 澤石 勉

4 出席者紹介

5 次 第

- ① 地域支援課（水林事業所）の現状等について
- ② その他

6 その他

7 グループホーム見学

令和6年度 地域連携推進委員名簿

	区分	氏名	備考
1	委員		
2	委員		
3	委員 (保護者代表)		
4	委員 (利用者代表)		
5	管理者		
6	地域支援部長		
7	地域支援課長		
8	地主 地域支援課査		

令和6年10月8日

秋田県心身障害者コロニー

地域支援課（水林事業所）

1 事業所名

秋田県心身障害者コロニー 水林事業所（介護サービス包括型）

住所 由利本荘市調練場1-1 電話 0184-23-3551

2 グループホーム一覧

グループホーム名	性別	定員	現員	住 所
① めぐみ	女	6	5	由利本荘市●●●●●●
② 菖蒲	男	6	6	由利本荘市●●●●●●
③ 虹	男	5	4	由利本荘市●●●●●●
④ 御門A	男	5	5	由利本荘市●●●●●●
⑤ 御門B	男	5	5	由利本荘市●●●●●●
⑥ 清和A	女	4	4	由利本荘市●●●●●●
⑦ 清和B	男	5	4	由利本荘市●●●●●●
⑧ 朋A	男	4	3	由利本荘市●●●●●●
⑨ 朋B	男	5	5	由利本荘市●●●●●●
⑩ 若菜	男	5	4	由利本荘市●●●●●●
計		50	45	

※由利本荘市障がい者等緊急一時居室確保事業（2室）分除く

2 令和5年度、令和6年度 入所退所の状況

① 新規利用者

令和5年度 0名

令和6年9月末現在 1名

② 退所利用者

令和5年度 1名（長期入院のため契約解除）

令和6年9月末現在 3名（特別養護老人ホーム：2名、死亡：1名）

3 障害支援区分

区分	6	5	4	3	2	無	計
男	0	1	5	2	5	23	36
女	0	0	3	2	0	4	9
計	0	1	8	4	5	27	45

4 年齢構成

区分	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	最高齢	最年少
男	4	1	6	14	5	6	76	20
女	0	2	1	3	1	2	80	34
計	4	3	7	17	6	8	80	20

(平均年齢 53.18歳 男性：52.9歳 女性：54.34歳)

5 日中活動状況

- 一般就労 13名 (●●●● 他)
- 障害福祉サービス利用
 - 生活介護事業 7名 (●●●●● 他)
 - 就労継続支援事業B型 23名 (●●●●● 他)
- 介護福祉サービス利用
 - 通所リハ 2名
- 地域活動支援センター 1名 (●●●●)

※利用人数は重複者を含む

6 由利本荘市障がい者等緊急一時居室確保事業実施状況

【事業概要】介護者の急病等の不測の事態や養護者からの虐待、状態の変化等により必要な介護が受けられなくなった在宅の障がい者及び障がい児に対し、緊急かつ一時的な宿泊して利用する居室及び利用に伴う介護等を確保する。

年度	男		女		計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
令和5年度	1	8	2	13	3	21
令和6年度	0	0	1	5	1	5
計	1	8	3	18	4	26

7 職員配置状況

事業所名	部長	課長	統括	サビ管	看護師	支援員	世話人	宿直専門員	計	備考
水林事業所	1	1	1	1	3	5	0		12	
めぐみ							1		1	
菖蒲							1		1	
虹							1		1	
御門A							1		1	
御門B							1		1	
清和A							1	2	3	2日交代制
清和B							1		1	
朋A							1	2	3	2日交代制
朋B							1		1	
若菜							1		1	パート職員配置
計	1	1	1	1	3	5	10	4	26	

※管理課付職員除く

8 行事等活動状況について（令和5年度）

実施日	実施状況等
令和5年4月23日	・水林事業所保護者会総会
令和5年6月10日・24日	・グループホーム避難訓練
令和5年6月25日	・事業所利用者自治会総会
令和5年8月20日	・納涼祭
令和5年10月15日	・日帰り旅行（男鹿方面）
令和5年12月10日	・忘年会
令和5年12月21日	・水林事業所保護者会役員会
令和6年2月17日	・洪水想定での避難訓練（朋、清和）
令和6年3月21日	・水林事業所保護者会
令和6年3月23日	・グループホーム避難訓練
令和6年3月31日	・水林事業所保護者会解散

9 BCP（業務継続計画）について

別紙参照

10 虐待防止の取り組み状況について

【法人】

○令和6年度 第1回虐待防止チェックリスト

・不適切な支援、虐待へ繋がる事柄はなかった。しかし、虐待防止への意識浸透することにより、利用者さんへ支援において苦慮し悩んでいる姿も見受けられた。

○虐待防止研修（全職員対象）

【事業所】

○セルフチェックリスト（毎月実施）

○事業所単位による虐待防止委員会（適宜開催）

11 利用者満足度調査について（別紙参照）

毎年1回、利用者さん全員から生活環境等についての利用満足度調査を実施。

昨年度は、令和5年12月から1ヶ月間、利用者さんへ聞き取り調査を実施。

12 ヒヤリハット関係

令和5年度 ○GH2階から外へ用を足しに行った際転倒し、右大腿骨頸部骨折となる。

○GH2階から外へ用を足しに行った下から2段目くらいから踏み外し膝を擦りむく。

令和6年度 ○自己管理し服薬している薬袋への日付及び服薬時間の記載ミス。